



# **【第3編】調布市まち・ひと・しごと創生 総合戦略**



## I 調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け

---

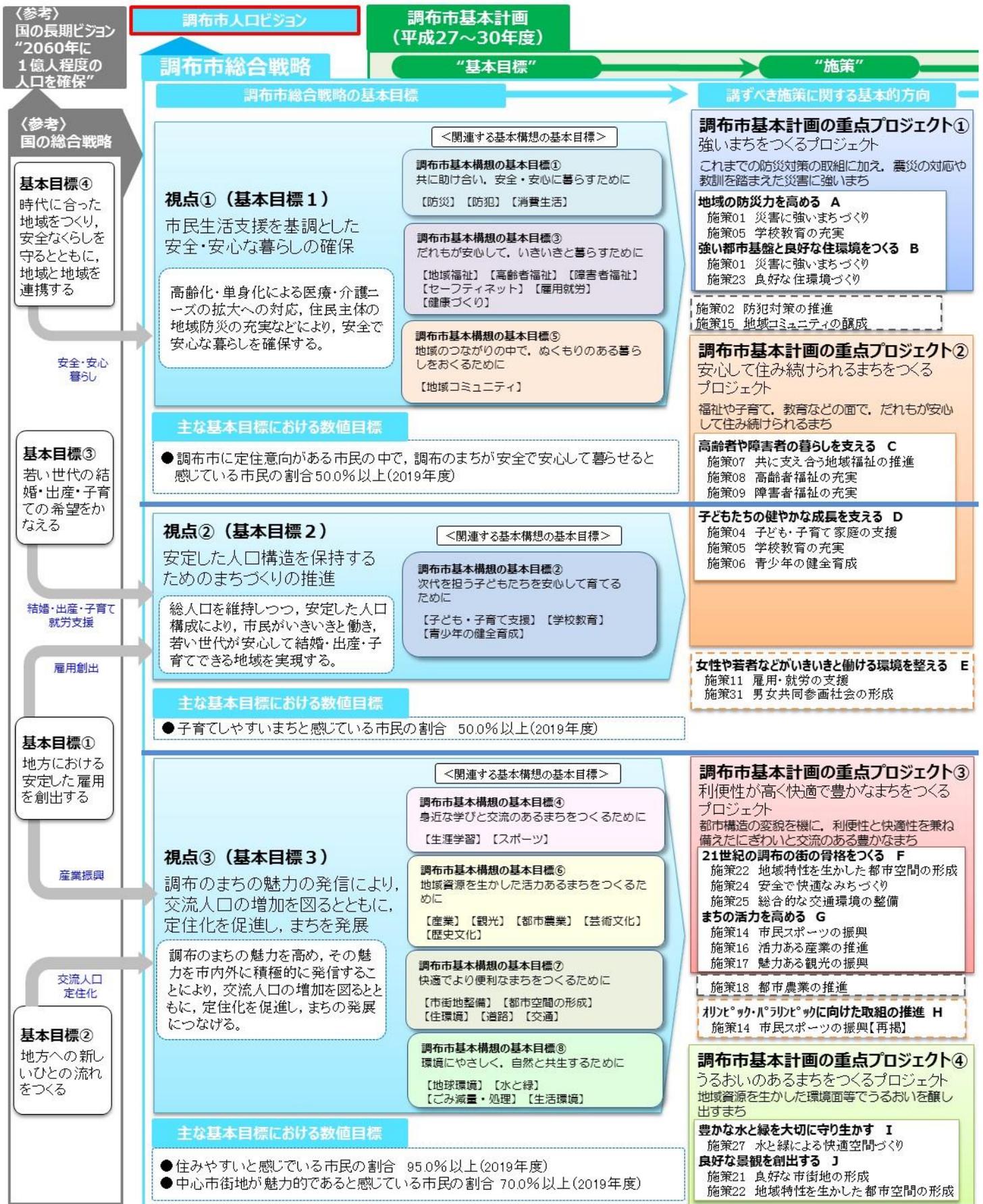
### 1. 調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け

第3編の「調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、第2編で一体的に示した「調布市人口ビジョン」を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法に基づき、調布市としてのまち・ひと・しごと創生総合戦略として策定するものです。

人口ビジョンの中で示した平成26年3月の「調布市将来人口推計」によると、調布市の総人口は、今後も緩やかに増加することが予想されていますが、徐々に増加幅は縮小し、2024（平成36）年の230,185人をピークに減少に転じると動向分析しています。年齢階層別にみると、老年人口（65歳以上人口）が増加していく一方で、年少人口（0～14歳人口）と生産年齢人口（15～64歳人口）はやがて減少し、少子高齢化が進んでいく見通しとなっています。また、人口の将来展望の基礎資料として活用するために実施した、平成27年8月の「調布市結婚・出産・子育てに関する市民意向調査」や「平成27年度調布市民意識調査」の調査結果によると、現在の合計特殊出生率と希望出生数との差があることや、20代から40代の市内在住者の転出意向が比較的高いことが分析から見てとれます。

こうした人口ビジョンの傾向を踏まえるとともに、地方創生の柱ともされる全国的な人口減少や地域経済縮小の克服といった課題を共有し、調布市における地方創生の取組を実現していくため、「調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。調布市総合戦略は、「市民生活支援を基調とした安全・安心な暮らしの確保」、「安定した人口構造を保持するためのまちづくりの推進」、「調布のまちの魅力の発信による交流人口の増加と定住化の促進・まちの発展」の3つの視点により基本目標を掲げ、平成26年度に修正した基本計画の実効性を高めるものとして、策定します。

## II 調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系



“基本的取組”		“まちづくり指標”	
施策		各施策における K P I・主な事業	
<b>地域の防災力を高める A</b> 【内は総合戦略の施策番号】 01-1 防災体制の充実【A-①】 01-3 消防力の強化【A-②】 02-1 身近な犯罪に対する防犯意識向上と防犯活動の推進【A-③】 02-2 犯罪抑止対策の推進【A-④】 05-5 安全・安心な学校づくりの推進【A-⑤】 15-1 地域コミュニティの活性化に向けた支援【A-⑥】 <b>強い都市基盤と良好な住環境をつくる B</b> 01-2 災害に強い都市基盤の整備【B-①】 23-2 良好な居住環境の形成と支援【B-②】	<b>調布市総合戦略のポイント(※)</b> ※新たな要素や、より推進すべき取組 ○人口減少、少子高齢社会を見据えたまちづくり ・地域包括ケアシステムの構築 ・地域による見守りの推進 ・福祉人材の育成 ・社会参加や生きがいづくり・多世代交流の促進に資する場・機能の創出 ・地域の防災体制の充実		
<b>高齢者や障害者の暮らしを支える C</b> 【内は総合戦略の施策番号】 07-1 地域が一体となった福祉のまちづくりの推進【C-①】 08-1 在宅生活の支援【C-②】 08-2 高齢者の社会参加の促進及び健康づくりの推進【C-③】 08-3 介護保険事業の円滑な運営【C-④】 09-2 障害者の自立に向けた就労支援・社会参加支援【C-⑤】 15-1 地域コミュニティの活性化に向けた支援【再掲】	<b>《主な事業》</b> ■調布市災害時要援護者避難支援プランの推進 ■防災市民組織等育成支援事業 ■福祉人材育成事業 ■地域密着型サービスの整備など		
<b>子どもたちの健やかな成長を支える D</b> 【内は総合戦略の施策番号】 04-1 子育てが楽しくなるまちづくり【D-①】 04-2 子育て家庭の支援【D-②】 04-3 子どもたちの健やかな成長の支援【D-③】 04-4 保育サービスの充実【D-④】 05-1 豊かな心の育成【D-⑤】 05-2 確かな学力の育成【D-⑥】 05-3 健やかな体の育成【D-⑦】 05-4 個性の伸長と協働の学校づくり【D-⑧】 05-6 学校施設の整備【D-⑨】 06-1 青少年の健全な成長の支援【D-⑩】 06-2 青少年の居場所づくり【D-⑪】	<b>《主な事業》</b> ■認証保育所等保育料助成事業 ■子ども若者総合支援事業 ■保育士の人材確保等事業など		
<b>女性や若者などがいきいきと働ける環境を整える E</b> 11-1 雇用・就労に向けた支援【E-①】 31-2 ワーク・ライフ・バランスの実現【E-②】	○地域で安心して結婚・出産・子育てできる環境づくり ○女性・若者の就労支援 ・マザーズコーナーや若者サポートステーションと連携した就労支援 ○ワーク・ライフ・バランスの実現 ・市内事業所等の取組の促進		
<b>21世紀の調布の街の骨格をつくる F</b> 【内は総合戦略の施策番号】 22-1 魅力的な中心市街地の形成【F-①】 22-2 駅周辺におけるまちづくり【F-②】 24-1 円滑に移動できる道路網の整備【F-③】 25-1 公共交通ネットワークの形成【F-④】 25-3 自転車関連施策の推進【F-⑤】	<b>《主な事業》</b> ■駅前広場の整備 ■「映画のまち調布」推進事業 ■深大寺周辺無料公衆無線LANによる観光PR事業 ■調布の魅力発信拠点「ぬくもりステーション」での観光PR事業など		
<b>まちの活力を高める G</b> 16-1 にぎわいを創出する商店街等の支援【G-①】 16-2 パイ調布運動(市内消費)の促進【G-②】 16-3 市内事業所・事業者への支援【G-③】 16-4 新たな創業への支援【G-④】 17-1 「映画のまち調布」の推進【G-⑤】 17-2 地域資源を活用したにぎわいの創出【G-⑥】 14-2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進【G-⑦】 18-1 いきいきとした農業経営【G-⑧】	○オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップを契機としたまちづくり ・スポーツ分野をはじめとする様々な取組を関係団体・近隣市と連携して展開 ○京王線地下化に連動する21世紀の調布の街の骨格づくりと賑わいの創出 ・調布駅前周辺の複合商業施設の民間開発との連携 ・ソナマコンプレックス開業を契機とした「映画のまち調布」の取組の展開 ○産学官連携の推進 ・電気通信大学ライオンズセンター(先端共同研究施設)との連携 ・商工会と連携し、金融機関など民間ノウハウを活用した中小企業等の支援		
<b>オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進 H</b> オリンピックレガシー創出に向けた取組【H-①】			
<b>豊かな水と緑を大切に守り生かす I</b> 【内は総合戦略の施策番号】 27-1 水と緑の保全【I-①】 27-2 水と緑の創出【I-②】 27-3 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進【I-③】			
<b>良好な景観を創出する J</b> 21-2 景観まちづくりの推進【J-①】 22-3 深大寺地区におけるまちづくり【J-②】			

### Ⅲ 調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略の見方

※このページは見本を示しているもので、本文の取組内容と一致していません。

**【基本目標】**  
調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標を示しています。また、それぞれの基本目標において地方創生のキーワードとなる取組のテーマを示しています。

**【基本目標における数値目標】**  
基本目標の実現に向けて目指すべき取組の数値目標を示しています。この指標は、事業活動そのものの結果（アウトプット）ではなく、その結果として住民にもたらされた便益（アウトカム）に関する数値目標としています。新たに位置付けた指標を除き、総合戦略における数値目標は、調布市基本計画のまちづくり指標と整合を図っており、平成30年度の目標値も掲載しています。

**【基本目標の体系】**  
基本目標の実現に向けて目指すべき取組の方向と、実現に向けた施策の体系を示しています。総合戦略の施策は、調布市基本計画の基本的取組と整合を図っています。

**【講ずべき施策に関する基本的方向】**  
基本目標の実現に向けて目指すべき取組の方向を示しています。総合戦略では、調布市基本計画の重点プロジェクトと整合を図っています。

#### Ⅳ 基本目標1 市民生活支援を基調とした安全・安心な暮らしの確保

##### 基本目標1が目指す方向

高齢化・単身化による医療・介護ニーズの拡大への対応、住民主体の地域防災の充実などにより、安全で安心な暮らしを確保します。  
地方創生のキーワード【安全・安心】【福祉・くらし】

基本目標1における主な数値目標	基準値 (平成27年度)	目標値 (平成31年度)
調布市に定住意向がある市民の中で、調布のまちが安全で安心して暮らせると感じている市民の割合	39.2%	50.0%以上
市内の住宅（一戸建て、分譲マンション等）の耐震化率	87.5% (平成26年度)	94.0%
健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動に参加している高齢者の割合	41.8%	50.0%以上
障害者就労支援センターの支援を受けている一般就労者数	152人 (平成26年度)	210人以上

調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系		調布市基本計画の施策
講ずべき施策に関する基本的方向	施策 (調布市基本計画の基本的取組)	
A 地域の防災力を高める 【重点プロジェクト1】	① 防災体制の充実(01-1)	施策01 災害に強いまちづくり
	② 消防力の強化(01-3)	
	③ 身近な犯罪に対する防犯意識向上と防犯活動の推進(02-1)	施策02 防犯対策の推進
	④ 犯罪抑止対策の推進(02-2)	
	⑤ 安全・安心な学校づくりの推進(05-5)	施策05 学校教育の充実
	⑥ 地域コミュニティの活性化に向けた支援(15-1)	施策15 地域コミュニティの醸成
B 強い都市基盤と良好な住環境をつくる 【重点プロジェクト1】	① 災害に強い都市基盤の整備(01-2)	施策01 災害に強いまちづくり
	② 良好な居住環境の形成と支援(23-2)	施策23 良好な住環境づくり
C 高齢者や障害者の暮らしを支える 【重点プロジェクト2】	① 地域が一体となった福祉のまちづくりの推進(07-1)	施策07 共に支え合う地域福祉の推進
	② 在宅生活の支援(08-1)	
	③ 高齢者の社会参加の促進及び健康づくりの推進(08-2)	施策08 高齢者福祉の充実
	④ 介護保険事業の円滑な運営(08-3)	
	⑤ 障害者の自立に向けた就労支援・社会参加支援(09-2)	施策09 障害者福祉の充実
【再掲】地域コミュニティの活性化に向けた支援(15-1)	施策15 地域コミュニティの醸成	

##### 調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略のポイント※【基本目標1】

- 人口減少、少子高齢社会を見据えたまちづくり
  - ・地域包括ケアシステムの構築
  - ・地域による見守りの推進
  - ・福祉人材の育成
  - ・社会参加や生きがいがづくり
  - ・多世代交流の促進に資する場
  - ・機能の創出
  - ・地域の防災体制の充実

※総合戦略に位置付けた新たな要素や、より推進すべき取組

##### 【調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略のポイント】

総合戦略に位置付けた新たな要素や、より推進すべき取組を示しています。

【講ずべき施策に関する基本的方向】  
講ずべき施策に関する基本的方向について、調布市基本計画の重点プロジェクト（目指すまちの姿）と整合を図っています。

【各施策】  
講ずべき施策に関する基本的方向に位置付ける施策について示しています。

【重要業績評価指標（KPI）】  
各施策ごとの達成すべき成果目標として、アウトカム指標（取組の結果として住民にもたらされた便益に関する数値目標）を設定しています。総合戦略におけるKPIは、新たに位置付けた取組を除き、調布市基本計画のまちづくり指標と整合を図っています。

【主な事業】  
各施策ごとに展開する主な事業を示しています。総合戦略における主な事業は、新たに位置付けた事業を除き、調布市基本計画の基本計画事業と整合を図っています。  
地方創生先行型交付金対象事業とは、平成26年度に国の補正予算により創設された地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用した事業を示しています。  
地方創生先行型交付金（上乗せ交付分）対象事業とは、地方創生先行型交付金の追加分として申請している事業を示しています。

講ずべき施策に関する基本的方向 【調布市基本計画—重点プロジェクト1】  
A 地域の防災力を高める  
自助・共助・公助の基本的な考え方のもと、地域や関係機関等との協働により、地域の防災体制づくりを推進し、地域の防災力の向上が図られています。

A 地域の防災力を高める <重点プロジェクト1 強いまちをつくるプロジェクト>  
施策A-① 防災体制の充実 (調布市基本計画 基本的取組 01-1)

- ◆地域防災計画の推進・修正  
東京都による首都直下地震等の被害想定の見直しや東日本大震災でも課題となった女性や要配慮者等の視点を踏まえ修正した調布市地域防災計画に基づき、防災対策の推進を図ります。また、東京都地域防災計画の修正等を踏まえ適宜計画の見直しを行います。
- ◆地域の防災体制づくり  
防災訓練などを通じて市民一人一人が自ら備え、地域で共に助け合う、自助・共助による地域の防災体制づくりを普及促進するため、地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織の育成支援を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

防災市民組織の団体数			
基準値 (平成26年度)	99団体	目標値 (平成31年度)	120団体以上

- 主な事業
1. 調布市災害時要援護者避難支援プランの推進  
調布市災害時要援護者避難支援プランに基づき、災害時に適切に避難することが困難な高齢者や障害者などの避難行動要支援者の名簿を整備し、消防、警察、民生児童委員、福祉関係団体、地域で活動する組織等との平常時からの連携に努め、災害時に自助・共助・公助がそれぞれの力を発揮できる体制の整備に努めます。
  2. 防災備蓄品の確保・充実  
東京都の被害想定の見直しを踏まえ、食料や生活用品などの防災備蓄品の確保・充実を行うとともに、備蓄コンテナの設置や、防災備蓄倉庫の整備を計画的に進めます。
  3. 災害情報システムの維持管理・充実  
防災情報を的確に市民へ提供するため、防災行政無線などの災害情報システムを維持管理していくとともに、防災行政無線のデジタル方式への移行を進めます。
  4. 防災市民組織等育成支援事業【地方創生先行型交付金対象事業】  
防災市民組織の新規結成促進及び既存団体への支援を実施するとともに、地域共助の力による支援体制整備を進めるために市と災害時要援護者の支援に関する協定を締結した地域団体への支援を行い、地域防災体制の強化を図ります。
  5. 防災意識啓発事業【地方創生先行型交付金（上乗せ交付分）対象事業】  
災害時に市民が適切に避難できるよう、防災マップを全戸配付することで、市民の防災意識の啓発を図ります。また、市民参加や官民協働の公共サービスの提供の促進に向け、オープンデータへの取組を推進する中で、当該マップデータについても広く活用するためにオープンデータ化することを検討します。

広域的な連携や多様な主体との連携事例

- ・調布市総合防災訓練  
災害対策基本法に基づき、地方自治体は年に1回、総合防災訓練を行うこととなっている中で、消防、警察等の防災関係機関との連携強化を図るとともに、地域住民の自助力の向上を目的として、関係機関や地域住民とともに訓練を実施しています。  
  
<平成26年度の訓練の様子>

【広域的な連携や多様な主体との連携事例】  
調布市の取組だけでなく、近隣市と連携している取組や関係団体が実施あるいは連携している取組など、広域的な連携や多様な主体との連携事例について記述しています。